

(4) がんの地域連携パスについて

I. 平成 25 年度の経緯, 活動報告

平成 25 年 6 月 6 日に幹事会・がんパス WG 合同委員会を開催した。

- ・平成 25 年度の活動方針の確認。
- ・平成 25 年 4 月時点で, 県内のがん診療連携拠点病院は国指定 14, 準じる病院 30 (県指定 10, ほか 20) の計 44 病院となった。
- ・5 大がん並びに子宮体がんパス, 前立腺がんパス運用の推進を図る。
- ・平成 26 年 1 月に各拠点病院, 圏域での進捗状況把握のためのアンケート調査を行う。

II. アンケート結果報告

- ・平成 26 年 1 月時点におけるがん拠点 45 病院 (前回幹事会以降に 1 病院が追加) にアンケート調査を行った。
- ・国指定 14 ; 5 病院で 5 大がん全てのパスが稼働中 (昨年度末は 2 病院)。他の 9 病院は少なくとも 1 種類のパスが実際に稼働している。
- ・県指定 10 ; 1 病院で 5 大がん全てのパスが稼働している。他の 9 病院は少なくとも 1 種類のパスが実際に稼働している (昨年度末は 7 病院)。
- ・準拠点 21 ; 4 病院では少なくとも 1 種類のパスが実際に稼働している (昨年度末は 1 病院)。他は調整中 9 病院, 施設基準の届出前 2 病院, 施設基準の届出中 6 病院。
- ・平成 25 年 4 月～12 月の登録件数は 641 となり, 平成 25 年末時点で 1,662 件のパスが運用中。その内訳は, 乳がん 599 件 (36.0%), 胃がん 512 件 (30.8%), 大腸がん 256 件 (15.4%), 肺がん 231 件 (13.9%), 肝がん 48 件 (2.9%), 前立腺がん 15 件 (0.9%), 子宮体がん 1 件。パス脱落は 86 件, バリエーションは 11 件であった。
- ・県内の各圏域での医療資源に差があり, 各圏域の医師会, 拠点病院でのがんの地域連携パスへの取り組みや意識, 進行度に差がある。

III. 平成 26 年度の予定

- ・第 1 回幹事会・がん地域連携パス WG 合同会議
6 月 5 日 (木), 15:00～, 兵庫県私学会館
- ・第 4 回「ひょうご県民フォーラム」
11 月 1 日 (土), 14:30～, 兵庫県民会館 9F 「けんみんホール」
- ・第 2 回幹事会・がん地域連携パス WG 合同会議
2 月 5 日 (木), 15:00～ (場所未定)